

## IBM QRadar Cloud Apps

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

### 1. クラウド・サービス

#### 1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

##### 1.1.1 IBM QRadar Cloud Apps

IBM QRadar Cloud Apps は、お客様がアプリケーションをインストールして構成するためのクラウド・ホスティング・プラットフォームを提供するもので、QRadar on Cloud (QRoC) コンソールと併用できます。QRadar Security Intelligence プラットフォームの拡張機能として、お客様は本「クラウド・サービス」上で IBM アプリケーションおよび他社アプリケーションのどちらも実行できるため、企業全体にわたるセキュリティ・データおよびコンプライアンス・データに照らしてアナリティクスおよび統合を実行できるようになります。お客様は、「クラウド・サービス」で実行するものとしてお客様が選ぶアプリケーションの選択、評価、および構成に対して、ならびに適用される可能性のある別個の条件を遵守することについて、責任を負います。

### 2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=0FFE9FB0457B11E9A023FC8C61764AD5>

### 3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

#### 3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック ([https://www.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_overview.html](https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html)) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

## 3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>)の「クラウド・サービス」を選択します。

## 4. 料金

### 4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「リソース単位」は、「クラウド・サービス」の利用により管理、処理される、または「クラウド・サービス」の利用に関連するリソースの別個の単位です。

本「クラウド・サービス」において、「リソース」は、お客様が使用する IBM Security App Exchange のアプリケーションによって異なります。アプリケーションごとの「リソース」および必要な「リソース単位」の数は、IBM Security App Exchange のアプリケーション・タイトルに表示されています。

「サポート対象リソース」は以下のとおりです。

- (1) 「アプリケーション・インスタンス」は、固有の名前を持つソフトウェア・アプリケーション・プログラムのコピーです。複合環境(テスト、開発、ステージング、本番など)にある1つの「アプリケーション」、または単一環境にある1つのアプリケーションの複数インスタンスは、別個の「アプリケーション・インスタンス」とみなされます。
- (2) 「エンティティ ID」は、「アプリケーション・インスタンス」内で識別されるエンティティの固有の ID です。

## 5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs>に掲載されている条件を適用します。